

## 平成27年度第1回岩手県後期高齢者医療広域連合運営協議会 開催結果概要

- 1 開催日時 平成28年2月3日（水）午後2時30分から午後4時14分
- 2 開催場所 岩手県自治会館 3階第一会議室
- 3 出席委員 瀬川委員、村松委員、佐藤委員、伊藤委員、小野寺委員、菅原委員、岩動委員、大黒委員、大谷委員（代理）、細江委員、佐々木委員（代理）
- 4 傍聴者 1名

### 5 会議の概要

#### (1) 説明

次の事項について、事務局から説明した。

ア 後期高齢者医療制度の動向について

イ 岩手県後期高齢者医療広域連合の運営状況について

ウ 平成28年度及び平成29年度の後期高齢者医療保険料率(案)について

#### (2) 主な意見等

ア 後期高齢者医療制度の動向について

イ 岩手県後期高齢者医療広域連合の運営状況について

【委員】岩手県の一人あたりの医療費は新潟に次いで全国で下から2番目である。医療費がほかに比べて低い理由として考えられるのは、岩手県の医療機関が治療に不必要なことはあえてしないということがあるのではないか。一方で、岩手県の高齢者が健康だったり、医療機関が少なかったりということも理由として考えられる。

【委員】医療費の問題を議論するとき、延命治療がたびたび話題となるが、治そうという治療をするのではなく、自然に終末期を迎えるという考え方に変わってきている。自分自身で判断できなくなったときに治療をどうしてほしいのかということ、あらかじめ判断能力があるうちに示しておくことが重要ではないか。

【委員】延命治療について、これ以上もう治療しなくていいという意思表示をすることについては、国民的な議論をして合意していかないとなかなか難しい問題だろうと思うが、議論を重ねていくうちに、徐々に合意が形成されるのではないか。

【委員】我々の団体では会員に対して重複頻回や残薬の問題を話題にして、医療費を抑制するための意識の啓発を図っていきたい。

【委員】我々の団体では、「がん連携」に取り組んでいる。内容は、病院でがんと診断された後、手術前に、歯科で口腔内をきれいにするものであり、術後の在院日数の減少や肺炎予防に効果が認められている。

また、広域連合が実施している歯科健診事業について、2年前から対象者数を拡大し75歳到達者に実施しているが、歯科だけでなく他の疾患の話を受診者から聞き、治療に活かしている。

ウ 平成28年度及び平成29年度の後期高齢者医療保険料率(案)について

【委員】 全ての世代の負担によるこの制度を守っていくために、広域連合への要望だが、いろいろな機関とタイアップして、高齢者への健康づくり事業に積極的に取り組んでいただき、医療費の適正化や増加抑制にご尽力いただきたい。

【委員】 我々の団体では、後発医薬品の普及啓発と残薬の問題解消のため、後発医薬品使用の意向と、残薬があるかどうかを患者さんが窓口にいらしたときに伺うことにしている。

しかし、後発医薬品の普及啓発は、医療機関と薬局だけではなかなか進められないところもあることから、広域連合でも引き続き取り組みをお願いしたい。